

日语专业系列教材

Japanese

Reading

3

日语泛读教程

总主编 陈俊森
主 编 陈百海



高等教育出版社
Higher Education Press

.4
2.3

日 语 专 业 系 列 教 材

Japanese

Reading

日语泛读教程

3

总主编 陈俊森

主 编 陈百海

编 者 谷玲怡 李占山 祝玉深 吉田美登利



高等教育出版社

Higher Education Press

图书在版编目(CIP)数据

日语泛读教程. 3 / 陈俊森主编; 陈百海分册主编.
北京: 高等教育出版社, 2004.9
ISBN 7-04-015546-X

I.日... II.①陈...②陈... III.日语—阅读教学—教材 IV.H369.4

中国版本图书馆CIP数据核字(2004)第084344号

策划编辑 祝大鸣 陈 薇 责任编辑 李 炎 封面设计 于文燕
版式设计 孙 伟 责任校对 李 炎 责任印制 陈伟光

出版发行 高等教育出版社
社 址 北京市西城区德外大街4号
邮政编码 100011
总 机 010-58581000

购书热线 010-64054588
免费咨询 800-810-0598
网 址 <http://www.hep.edu.cn>
<http://www.hep.com.cn>

经 销 新华书店北京发行所
印 刷 涿州市星河印刷有限公司

开 本 850×1168 1/16
印 张 13.25
字 数 210 000

版 次 2004年9月第1版
印 次 2004年9月第1次印刷
定 价 20.80元

本书如有缺页、倒页、脱页等质量问题, 请到所购图书销售部门联系调换。

版权所有 侵权必究

物料号: 15546-00

前 言

一、编写背景

近年来,我国高等院校日语专业的规模得到了很大发展,据教育部截止到2003年的统计,开设日语专业的学校已达251所,最近还有不断上升的趋势。日语专业的教材建设问题一直是日语界,特别是日语教师关注的一个重要问题。其中泛读课与报刊选读课是日语专业教学大纲规定的主要课程之一,也是各个院校多年来开设的基础课程。但是,长期以来,各院校有的是自己编写教材,有的选用市面上出售的各种日语读物作为替代物,也有的教师使用临时选编的材料发给学生,至今没有一套为大多数院校选用并且得到肯定的泛读教材。很多担任泛读课教学的老师利用各种机会呼吁,希望集中力量编写一套符合中国大学日语专业泛读课教学规律、反映时代要求的泛读教材,以适应当前的教学改革形势。

为了进一步搞清日语专业泛读教学的现状,了解一线教师对泛读教材的希望与要求,我们于2003年12月借在河南师范大学举行日语教育国际会议的机会,对来自全国各高等院校的约60位老师进行了问卷调查,对各高等院校泛读课的现状以及对泛读教材的希望和要求等进行了深入调研。大多数老师认为,泛读教材应该具备“内容新颖”、“具有时代感”、“题材多样化”、“内容更加贴近生活”、“要有名家名篇”、“难易适中”、“要与精读教材明显区分”、“练习参考答案单独印刷”、“补充文化背景知识”等特点。

根据以上的现状与需求调查,充分考虑到全国日语专业的泛读课程现状,我们决定编写一套能够反映时代需求、适合国内日语专业教学、结构设计新颖实用、版式插图精美的泛读教材,以满足日语专业的教学需求。

二、教材构成

泛读课与报刊选读课的主要目的是:扩大学生的词汇量和知识面,让学生了解各种文体、各种内容的文章,为适应已经到来的信息社会的需要,教材中科普性文章应占有一定比例,还应使学生掌握最新国际时事及相关词汇,毕业后能尽快适应有关工作,同时还应使学生了解报刊语言特点等。

本教材的教学对象为日语专业2、3年级的大学生。4册共需144~160学



时(周学时2, 可以使用4个学期; 周学时4, 可以使用两个学期)。每册由10课构成, 供36~40学时使用。各校可根据各自课程安排选用本教材的一部分或全套。

本套教材的选文题材广泛, 体裁多样, 既有反映时代脉搏的文章, 也有介绍传统文化的佳作; 既有年轻人感兴趣的话题, 也有思想内涵丰富的作品。

每课由3篇题材相关的短文组成。阅读文1包含有生词、注释、词语用法、表达与句型、练习等, 本部分为每课的主干。阅读文2和阅读文3是补充阅读材料, 供教师灵活掌握使用, 也可以供学生课后自学时使用, 两个阅读文后面都设有针对性很强的阅读练习。

除了正文以外, 每册还安排了两篇时文选读, 内容为反映当前世界、中国、日本所发生的最新信息与事件, 文章内容大多与日常生活、科技进步、时代发展有密切关系。通过阅读这些文章可以使学生了解和思考新概念、新问题的日语表达, 增加阅读的时效性和信息量。

各册教材安排了2个附录, 附录1为两套自测题。附录2为总词汇表、词语用法、表达与句型索引。

教材的难度第一册为初级向中级过渡的阶段, 以后逐步加大难度, 第四册为中级向高级过渡的阶段, 难度的发展比较平缓。

为了方便教学, 1~4册集中配备了一册《日语泛读教程教学参考书》合订本, 主要内容包括教学指导、背景知识、练习参考答案以及阅读文的译文等。

本套教材还可供各类中级日语学习者扩展日语知识、提高阅读分析能力使用。

三、致 谢

本套教材是在《新大学日语阅读与写作》(1~4册)的基础上改编而成的, 在此谨对参加过原教材编写的中日双方有关专家和相关人员以及协作单位表示衷心的感谢。本套教材是集体智慧的结晶。在此特别要感谢原大学外语教学指导委员会委员、日语组副组长、黑龙江大学田忠魁教授审读全稿; 顾明耀教授在百忙之中对设计思想、编写大纲以及编写过程中的细节问题都给予了细致的指导和无私的帮助。同时向本套教材的策划——高等教育出版社外语出版中心副主任祝大鸣先生、陈薇女士以及责任编辑李炎女士表示衷心的感谢, 这套教材的顺利出版也包含有他们的智慧和辛勤劳动的汗水。

我们相信本套教材会成为我国日语专业泛读课程的精品, 同时希望使用本教材的老师和同学提出批评意见, 以便我们不断修订完善。

编 者

2004年6月



郑重声明

高等教育出版社依法对本书享有专有出版权。任何未经许可的复制、销售行为均违反《中华人民共和国著作权法》，其行为人将承担相应的民事责任和行政责任，构成犯罪的，将被依法追究刑事责任。为了维护市场秩序，保护读者的合法权益，避免读者误用盗版书造成不良后果，我社将配合行政执法部门和司法机关对违法犯罪的单位和个人给予严厉打击。社会各界人士如发现上述侵权行为，希望及时举报，本社将奖励举报有功人员。

反盗版举报电话：(010) 58581897/58581896/58581879

传 真：(010) 82086060

E - mail：dd@hep.com.cn

通信地址：北京市西城区德外大街4号

高等教育出版社打击盗版办公室

邮 编：100011

购书请拨打电话：(010)64014089 64054601 64054588

目 录



第1課

リーディング1 デマエと消費者 1

言葉の使い方 5

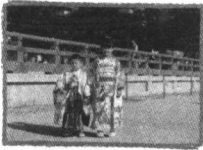
表現と文型 7

練習問題 9

リーディング2 都市美と自動販売機 11

リーディング3 お金を払えば神様ですか 13

コラム 知っておきたいアルファベット語 15



第2課

リーディング1 日本の年中行事 17

言葉の使い方 21

表現と文型 23

練習問題 24

リーディング2 節分 27

リーディング3 日本における贈答の習慣 29

コラム 日本の主な祝祭日 31



第3課

リーディング1 失敗 33

言葉の使い方 36

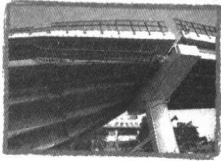
表現と文型 38

練習問題 40

リーディング2 偽札 42

リーディング3 ありそうな話 44

コラム 世界の名作の対訳 47



第4課

リーディング1 年々広がるボランティアの輪 49

言葉の使い方 53

表現と文型 55

練習問題 56

リーディング2 感動したお礼のハガキ 59

リーディング3 他人のためだけでなく自分のため 61

コラム こちらこそサンキュウ 64



第5課

リーディング1 失われた子どもの三「間」 66

言葉の使い方 71

表現と文型 72

練習問題 74

リーディング2 子供はどこで遊んでいるのか? 77

リーディング3 子供がフォアグラになる 79

コラム 早口ことば 82



第6課

リーディング1 動物はなぜ多産なのか 83

言葉の使い方 87

表現と文型 88

練習問題 90

リーディング2 原子力潜水艦はイルカがモデル 93

リーディング3 誤解されたアフリカ水牛 95

コラム 化石とは何ですか? 98



第7課

リーディング1 インターネットショッピング 99

言葉の使い方 103

表現と文型 105

練習問題 106



リーディング2 情報化社会 108

リーディング3 カード破産 111

コラム 世界一短い手紙 113



第8課

リーディング1 現代人の「福祿寿」 114

言葉の使い方 118

表現と文型 120

練習問題 121

リーディング2 変わる専業主婦 124

リーディング3 主婦のタクシードライバー 126

コラム コロンブスの卵 129



第9課

リーディング1 子供の夢はプロ選手 130

言葉の使い方 134

表現と文型 136

練習問題 137

リーディング2 聖火リレー 140

リーディング3 プロNo.1の日吉さんをご紹介します 143

コラム 柔道 145



第10課

リーディング1 循環型社会元年 147

言葉の使い方 151

表現と文型 153

練習問題 154

リーディング2 物質文明の光と陰 157

リーディング3 持ち箸派 160

コラム 我が家のゴミ減量実践 163



時事文 1 164

時事文 2 168

附 录 1

模擬テスト 1 172

模擬テスト 2 183

附 录 2

単語索引 193

言葉の使い方索引 197

表現と文型索引 198

第1課

デマエと消費者

読みながら

1. 日本では、どんなものが出前されていると思いますか。中国ではどうですか。
2. 「出前」の便利な点はどんなところですか。また、短所があるとなれば何でしょうか。

リーディング1

ポール・ボネ

私はデマエ（出前）という日本語が大好きである。なぜなら、こんな便利な制度は、欧米ではほとんど想像できないからである。

デマエは日本人の食生活における最大のぜいたくである。スシ、ソバ、ラーメン、洋食、ウナギなど、持ち運び可能な食べ物は、電話一本でたちまち目の前に現れる。まさにデマエこそ、現代におけるアラジンのランプにほかならない。

デマエは、昼間オフィス街に働く亭主族に福音をもたらしているばかりでなく、家庭の主婦たちにも料理の手間を省くという利益をもたらしている。

10 もっとも、私の交際している日本の友人の中で、比較的恵まれた



生活をしている人々は、なぜか、あまりデマエを好まない。彼らの家庭はデマエのテンヤもので客をもてなすことを失礼な接待だと考えている。

したがって、デマエを日常的なものと考えているのは、上層の日本人よりも、むしろ中流の日本人である場合が多い。

この国では、自宅から一步も外に出ないで生活するという、ワード・ヒューズのような人生が、一庶民^{しょみん}でも可能である。

ヨーロッパやアメリカでも、もちろん可能ではあるが、それはあくまでもケタ外れの資産家にのみ可能なのであって、日本のように一般的なものではあり得ない。

配達制度で、欧米先進国に現存しているものは、せいぜいミルクと郵便ぐらいであって、昨今は牛乳配達さえ崩れつつある国も少なくない。

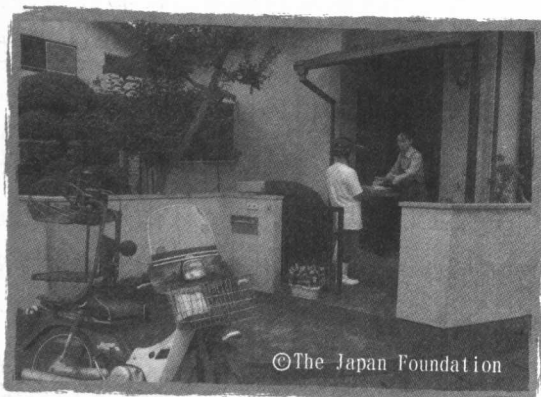
それが日本では、ミルク、郵便はもとより、新聞、洗濯、デパート、医師、米、酒、食品など、ありとあらゆるものが玄関に現れる。それはもう信じ難いほどのサービスである。

欧米の人間が、いちいち街に出て買い求める品物が、日本では配達料抜きですべて玄関にまで届けられるのである。便利といって、これほど便利なことはない。

ところが、当のサービスを受けている日本の「消費者」たちは、いっこうに有難がっている風がない。それどころか、ミルクが値上げされたり、新聞が値上げされたりすると、国中に「ブーブー」という声があがる。

デパートや酒屋^{さかや}が配達を断ったら、たちまち客を失ってしまう。医師が往診を断ると、人道問題だと新聞までが一緒になって叩く。

だから、この国では、配達可能、出張可能なも



©The Japan Foundation



のは、すべて玄関までという制度が崩れない。配達用のトラック、スクーター、往診用の乗用車、マッサージ師の出張用自動車などは、もしかすると、交通渋滞の一因をなしているのではないかと思えるほどだ。

- 5 海外の支店で二年なり三年なり暮らしてきた日本人商社員は、日本に帰ってくると、月給の額面が激減するにもかかわらず、生活そのものはやはり日本が便利だという。それはそうだろう。日本のようなデマエ全盛の国は世界中どこを捜してもないのだから……。

10 しかし、このデマエ全盛の状況を冷静に見つめてみると、この制度が、今日のインフレのかなり大きな要因になっていはいはしないかということに気付く。いや、逆に、デマエ（配達、往診も含めて）を廃止すれば、かなりコストが安くなるということは確実に言える。その最たるものは新聞料金や牛乳の料金であり、医療の料金であろう。

- 15 街頭で一部売りをしている新聞と、各家庭に配達されている新聞が同一の料金だどういっということが、すでにおかしい。牛乳もしかり、米もしかり、クリーニングもしかりである。

20 アメリカのように人件費の高い国では、郵便切手のような公共料金のはんちゆう範疇に入るものさえ、郵便局に行って買えば、額面通りの値段だが、自動販売機で買うと、額面より高い。なぜなら客は自動販売機の使用料を負担しなければならないからである。

（『不思議の国ニッポン Vol.1 在日フランス人の眼』 角川文庫 一部省略）

単語リスト

1. デマエ（出前）① [名・自サ] 料理を調理して注文された家に届けること。また、その料理。
2. なぜなら ① [接] 前に述べたことの原因・理由を説明する時に用いる。なぜ



- | | | |
|-------------------|-------|--|
| 3. 寿司 (すし) ② | [名] | かというと。
酢で味付けした飯に刺身や卵焼き、海苔などをあしらった食べ物。 |
| 4. 蕎麦 (そば) ① | [名] | ソバの実の中に入っている白い粒を粉にしたものを水でこねて延ばし、細長く切った食品。 |
| 5. ラーメン ① | [名] | 中華そばの、料理としての称。 |
| 6. ランプ ① | [名] | 石油を燃料とする、西洋風の明かり。 |
| 7. オフィス ① | [名] | 会社・役所などの事務所 (室)。 |
| 8. 亭主族 (ていしゅぞく) ③ | [名] | 世の中の夫達。 |
| 9. 省く (はぶく) ② | [他五] | なにか工夫をして、時間・労力・費用などを切り詰める。 |
| 10. テンヤもの (店屋物) ⑩ | [名] | 店屋の品物。特に、飲食店から取り寄せる食物を言う。 |
| 11. もてなす (持て成す) ③ | [他五] | ご馳走する。 |
| 12. したがって ⑩ | [接] | それだから。それゆえに。 |
| 13. ケタ (桁) ⑩ | [名] | (家屋・橋などで) 柱と柱を結ぶように渡して、その上に構築する物の支えとする材 (木)。
数の位。 |
| 14. あり得る (ありうる) ③ | [自下二] | ある可能性がある。あるはずだ。
(否定形は「ありえない」) |
| 15. せいぜい ① | [副] | 一番多いと考えても。多くとも。 |
| 16. もとより ① | [副] | 言うまでもなく。もちろん。 |
| 17. 抜き (ぬき) ① | [名] | 除くこと。省くこと。 |
| 18. ブーブー ① | [副] | 文句を言う様子。 |
| 19. スクーター ② | [名] | オートバイよりは軽便で、跨らないで乗れる二輪車。 |
| 20. もしかすると ① | [副] | ひょっとすると。もしかしたら。 |
| 21. 見つめる (みつめる) ⑩ | [他下一] | 視線を外ず、その物に見入る。 |



22. 確実 (かくじつ) ① [形動] 変更・間違い・失敗などのない様子。
23. しかり ② [自ラ変] (古語「しかあり」の変化) そうだ。その通りだ。
24. クリーニング ② [名] 洗濯。ドライクリーニングの略。
25. 自動販売機
(じどうはんばいき) ⑥ [名] 代金を入れると、自動的に物品が出てくるようにしてある装置。

■ 注 釈

- アラジン:『千夜一夜物語』の中の一編「アラジンと不思議なランプ」の主人公。ある貧しい少年が、魔法のランプの中に住む大男の力を得て幸福になる。
- ハワード・ヒューズ: 1905～1976。アメリカの大富豪。

言葉の使い方

1. 省く

- ・文章を書くにはむだな言葉は省いたほうがいい。
- ・いろいろな電気製品のおかげで、家事の手間はだいぶ省けるようになった。
- ・あまり時間がないので説明は省かせていただきます。詳細は添付資料をご覧ください。
- ・電気、水道などの公共料金をクレジットカードから引き落としにして、銀行に行く手間を省く。

2. もてなす

- ・外国からお客さんがいらっしゃったので、中華料理でもてなす。
- ・久しぶりに会った友達をもてなすために、おいしい手料理と酒を準備する。
- ・友人の実家にお邪魔した折に、丁寧なもてなしを受けた。



3. したがって

- ・日本は火山が多い。したがって温泉も多い。
- ・このあたりは非常に交通の便べんが良い。したがって地価が高い。
- ・過半数の人が賛成しました。したがってこの案は可決されました。
- ・京都は千年もの間日本の都であった。したがって古い伝統が残っている。
- ・その地方は道路があまり整備されていない。したがって初心者しょしんしゃの運転手は避けたほうがいい。

4. せいぜい

- ・給料が安くて、一人で暮らすのがせいぜいだ。
- ・今年の夏休みは、せいぜい3日ぐらいしかとれそうもない。
- ・私が今貸してあげられるのはせいぜい2万円です。
- ・ペットを飼いたくても、マンションでは、せいぜい小鳥ぐらいしか飼えない。

5. 見つめる

- ・ストーブの火を見つめながら、じっと考えている。
- ・眠っている子どもを見つめる母親の顔に、微笑びしょうが浮かんだ。
- ・彼は何も言わないで、じっと私の顔を見つめて立っていました。
- ・私をまっすぐに見つめながら、直ちに正確な説明をしてくれた。

6. 確実

- ・彼女は約束した事は確実に実行する。
- ・彼女は多くの人に支持されているので、当選は確実だ。
- ・彼が来日するという確実な情報を得た。
- ・このままでは、水が不足することは確実だ。
- ・気象データによると、地球の温暖化おんだんかが進んでいることは確実である。



表現と文型

1. なぜなら(ば)～からだ

▲前に述べたことについて、その理由や事情を説明するのに用いる。「ば」は省略されることもある。どちらかという、書き言葉や、改まった場面での話し言葉で用いられる。日常の会話では「なぜかという／なぜかといえば～からだ」が使われることが多い。

- ・この地域では植物を一切採ってはいけない。なぜなら、国立公園だからだ。
- ・原子力発電には反対です。なぜならば、絶対に安全だという保障がないからです。
- ・彼とは仲直りすることにした。なぜなら、対立していてもいい結果は生まれないから。
- ・殿下のご結婚相手はまだ発表するわけにはいかない。なぜならば、正式な会議で決まっていないからだ。

2. ～はもとより

▲はじめに当然と思われることを出して、「それだけでなく、もっと重要なこと／軽いことも」という意味を表す。

- ・結果はもとより、その過程も大切だ。
- ・胃はもとより、肺もやられているのが検査で分かった。
- ・ワープロはもとより、タイプライターすら使ったことがない。いつも手書きた。
- ・すしはもとより、すきやきも彼は食べられない。とにかく日本料理は一切だめだ。
- ・ジャーナリストはもとより、政治家ももっと歴史を深く勉強すべきではないか。

3. ～ぬき

▲「～を省いて」という意味。*「～はぬきで」や「～はぬきにして」となることもある。

- ・彼は毎日朝食ぬきで出かける。
- ・感情はぬきにして冷静に話し合ってください。